



29議委第109号

平成30年3月6日

南会津町議会

議長 五十嵐 司 様

南会津町議会文教厚生委員会

委員長 楠 正 次



委員会調査報告書

本委員会所管事務調査事件について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

調査事件 町内の介護老人保健施設の概要について

調査日時 平成30年2月19日 午前9時30分～午後4時

出席者 委員長 楠正次、副委員長 大桃英樹、渡部訓正委員、星登志一委員、室井嘉吉委員

参考人 小寺俊和健康福祉課長、大桃 悟介護保険係長

随行員 渡部浩一議会事務局主査

場 所 本庁舎3階中会議室

①特別養護老人ホーム 優雅 ②特別養護老人ホーム 田島ホーム ③介護老人保健施設 湯花里苑

調査目的

町内の介護老人保健施設の実態及び課題・問題点を把握するため。

現状調査

老人福祉施設訪問前に事前レクチャーとして小寺健康福祉課長、大桃介護保険係長の説明を受けました。

その後、町内の3施設を訪問し、職員と懇談を行いました。

本町では、特別養護老人ホームを社会福祉法人南会津会と社会福祉法人桜寿会が運営し、介護老人保健施設を医療法人社団仁嘉会が運営しています。

特別養護老人ホームは、生活全般の介護が必要とする要介護3以上の人が入所できます。介護老人保健施設は、リハビリテーションを中心に機能回復をして家庭復帰を目指す要介護1以上の人が入所できる施設です。

特別養護老人ホームは、どの施設も短期入所生活介護（ショートステイ）が経営難であることから、今後はショートステイを減床して長期入所を増床させ、経営の安定化を目指す考えです。優雅（特養）は、ショートステイ20床のうち10床を長期に転換する考えです。

田島ホーム・南郷ホームは、ショートステイをそれぞれ4床減らし、長期入所を8床増やし、入所待機者を減らす考えです。

1、特別養護老人ホーム優雅

説明者 桜木施設長

平成30年1月時点の入所者数は49人で、要介護度平均は4.3で一般的特養に比較して低く、男女比率は2対8で女性が圧倒的多数を占めています。職員数は正規職員が56名、パート10名の総数66名です。

施設は制度に左右されるが介護保険制度に頼りきってはいはだめで、デイサービスやリハビリテーションに力をいれて高齢者が自分で歩くことができるように支援しています。経営環境は厳しく、処遇改善加算は今後も継続して欲しい。

一番の課題は介護職員の確保で、慢性の不足状態が続いている。入所者の入浴が重労働で、介護職員のためにリフト付きに変えたいが職場改善補助が低く、自己資金が相当必要で現状設置は困難です。

2、特別養護老人ホーム 田島ホーム

長沼芳樹常務理事、大竹洋一田島ホーム園長

施設見学・大竹洋一施設長の案内説明

正規職員23名、臨時職員8名、パート12名です。その他にデイサービスB型・E型、デイサービスセンター七峰、在宅デイサービスセンターも含めて計69名で運営しています。

田島ホームは建設から21年経過し、施設の老朽化が進み修繕費等多くなり、経営に支障を生じています。

これまで施設の建設費用は、2割を南会津地方広域市町村圏組合が負担し、8割を所在町村負担で対応

してきましたが、運営経費は既に単年度では赤字になり、開所年から見ると下郷ホーム、伊南ホーム、田島ホームの順で老朽化しています。昨年はボイラー関係の修繕費で3,000万円を、施設の積立金を取り崩し対応できましたが、積立金残額も少なくなり今後の課題の一つと考えます。最大の課題は介護職員不足が恒常化して、募集広告の新聞折込みをしても応募はゼロという現状です。

3、介護老人保健施設 湯花里苑

説明者 大山佳仁事務長

- ① 要介護1から入所でき、病床は80床で現在77名入所しています。男女の入所割合は男性が20名で女性が57名とやはり女性の入所者が多い現状です。

職員の状況は施設長（医師）1名、正規職員36名で非正規職員が8名計44名です。職種内訳は、看護師8名、介護士21名、理学療法士、作業療法士、ケアマネージャー、支援相談員、管理栄養士、事務職、運転手等です。

看護師は会津中央病院からの出向（3年）で配置され、当初7名出向でしたが6名は移籍（仁嘉会）して他地元1名で、介護士の出向もあり給与表は会津中央病院給与表を準用しています。

- ② 入所者の見直しは3ヶ月に1回実施しています。本来自宅復帰が原則ですが、10年以上の継続入所者もあります。2年に一度県の実地指導が入るが、これまで指摘等は受けていません。

- ③ 夜間勤務体制は看護師1名、介護士2名の計3名で77名の入所者に対応しています。

- ④ 会津中央病院からの出向職員等の住環境改善のため、旧上郷小学校の敷地内に寮を建設しています。オール電化システム、Wi-Fi完備で1階・2階ともに6室、12人入居に現在は10名入居しています。

寮費は月額5,000円で光熱費は別途実費となります。

所見

どの施設も介護職員の確保が課題となっており、会津中央病院は介護福祉士養成学校を運営していますが、去年は50名の定員にわずか13名という実態です。町内にデイサービス施設が増えたため、特養2施設共にショートステイの効率が悪く、長期入所に変更を検討しています。

施設ごとの賃金格差が大きく賞与も2.5月分から4.5月分と格差がありました。優雅は、昼夜を問わず通年の室温管理のため設置計画時にオール電化を選択したが、実際冬期間の気温が予想以上に低く、想定外の電気代と除雪等にかかる経費が経営を圧迫しています。下郷が特別豪雪地帯に指定されているのに、田島地域は特別豪雪地帯に指定されていない現状に疑問を感じました。

総括

〇月に一度程度は町内施設の施設長の懇談の場を設け、課題を出し合い、共通の課題は行政担当者や社会福祉協議会の担当者と共に課題解決に向け協議すべきと考えます。

〇田島地域の特別豪雪地帯指定を国に要望すべきと考えます。

〇施設設置の場合は国・県・町と補助金支出できますが、運営に関わる補助は制度化されず、所有形態により町の支援が変わるが、どの施設も同様の支援ができるように検討すべきと考えます。

〇優雅は20人の入所者に1人の夜間勤務体制ですが、湯花苑は77名の入所者に介護職員が2名という勤務体制です。過重労働の対価としては低く、その改善が進むように国の社会保障費用を現状に見合うものに改正されることが必要と考えます。

〇桜木施設長の言われた「処遇改善手当はなくさないようにして欲しい」は、現場責任者としての痛切な本音の言葉だと思います。今後の国の動向を注視して長期入所せざるを得ない現状を、国・県に強く訴えていく必要があると考えます。